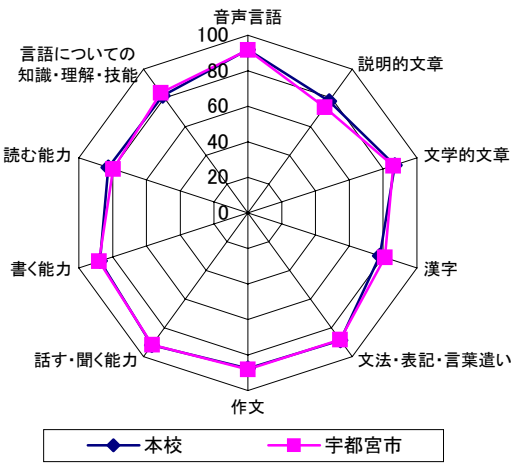


宇都宮市立国本中学校第1学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	91.9	91.7
	説明的文章	77.8	73.5
	文学的文章	87.1	85.9
	漢字	77.9	81.0
	文法・表記・言葉遣い	88.6	88.2
	作文	87.5	88.2
観点別	話す・聞く能力	91.9	91.7
	書く能力	87.5	88.2
	読む能力	82.5	79.7
	言語についての知識・理解・技能	81.5	83.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (91.9%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、0.2パーセント高い。市の平均と比べ、一番高い問題は話し方の工夫の聞き取りであり、一番低い問題は話の要旨の聞き取りであった。	・聞き取りテストを今後も継続させる。また、生徒が書いた作文の発表などの時間を増やし、他の生徒の話の要旨を聞き取らせるようにさせたい。
説明的文章 (77.8%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、4.3パーセント高い。全領域とも市の平均を上回っていた。	・この領域は生徒が得意なようなので、より伸ばしていきたい。そのため、今後は説明文的な本を授業以外でも読むように読書指導をしたい。
文学的文章 (87.1%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、1.2パーセント高い。全領域の中で、市の平均と比べ、一番高い問題も、一番低い問題も登場人物の心情であった。	・小説などを読ませるときに、登場人物の心情をよく考えるように指導したい。また、生徒は小説を読むことが好きなので、よりたくさん小説を読むように生徒におすすめの本の紹介などをさせたい。
漢字 (77.9%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、3.1パーセント低い。漢字は読みよりも、書き取りが苦手な傾向であった。	・漢字テストや漢字の書き取りの練習も今まで通り継続させる。また、漢字テストで不正解が多い問題は、生徒に改めて書かせるように指導したい。
文法・表記・言葉遣い (88.6%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、0.4パーセント高い。市の平均と比べ、一番高い問題は故事成語の意味であり、一番低い問題は文節の分け方であった。	・故事成語は小テストを行ったので、今後は文法も小テストを行っていきたい。
作文 (87.5%)	・平均正答率は市全体の平均の平均と比べると、0.7パーセント低い。市の平均と比べ、一番高い問題は接続語であり、一番低い問題は意見の記述であった。	・作文単元以外の時間も書く機会を増やしたい。小説や説明文の感想を書かせたら良い作文を紹介して、書くことに対する意識を高めたい。また、普段の学習でも発表をさせる前に、文章にまとめさせるようにしたい。